

香川大学教育学部 学生からの意見と学部の対応 （令和4年5月） 基盤整備委員会	
<b>（1）授業や教育課程、教育プログラムに関すること</b>	
<b>①教育課程</b>	
	該当なし
<b>②教育実習</b>	
	該当なし
<b>③その他 授業関連</b>	
	該当なし
<b>（2）学修支援に関すること</b>	
	該当なし
<b>（3）学生生活支援に関すること</b>	
	該当なし
<b>（4）教育環境設備に関すること</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコン使用時に勝手に電源が落ちたり温度が下がったりする。もっと長い時間暖房機能を使えるようになってほしい。</li> </ul>
	<p>対応（基盤整備委員会）</p> <p>教育学部に配分される予算上の諸問題を再度確認し、少しでも快適な学習環境となるよう検討します。現時点において、自動で切れる暖房はその都度onにすることができます。学部の先生方に改めてそのことを周知します。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fiが弱くオンライン授業で授業に入れないことがある。強化してほしい。</li> </ul>
	<p>対応（基盤整備委員会）</p> <p>教育学部に配分される予算上の諸問題を再度確認し、整備計画を検討します。学生からの強い要望であることを後援会（保護者の会）等に説明し、助成を求めます。現時点では授業優先で整備を進めています。しばらくは空き講義室等での利用をお願いします。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自習しやすいように空き教室がどこか分かるようにしてほしい。</li> <li>・ラウンジ等の自由に使える部屋の使用について、話し合いの活用として使える部屋と、自習等の静かに使える部屋とで分けてほしい。</li> </ul>

対応（基盤整備委員会）

現在大学全体の改組に伴い、学部間で施設の再配備が進んでいます。教育学部の学生定員の削減もあったため、正直厳しい状況です。当面の間は空き教室などの有効活用をお願いします。「空き教室情報」に関しては全学の授業等とも連携して周知できる体制を検討します。

- ・心理領域の研究室の数が他の領域と比べて少ない。
- ・勉強スペースが少なすぎる。
- ・学生の用いる研究室の割り当ての見直し（国語）
- ・各領域の部屋を拡大してほしい（英語）

対応（基盤整備委員会）

学部間での施設の再配備が落ち着いた時点で、コース・領域ごとの占有面積の調査を行い、所属学生数などに対応した平準化を検討します。

- ・教員採用試験対策で必要となるホワイトボードが備え付けられている教室が少ない。
- ・ロッカーの鍵がついてないところには改善が必要。
- ・3号館4階に行くのが不便。
- ・各領域にタブレット等ICT機器を導入してほしい。

対応（基盤整備委員会）

ロッカーの鍵については、防犯上の観点から対応を検討します。その他、学部予算の関係上なかなか難しい内容がありますが、外部資金の公募など相応しいタイミングで整備を検討します。

香川大学教育学部 学生からの意見と学部の対応 (令和4年2月) 学務委員会

(1) 授業や教育課程、教育プログラムに関すること

①教育課程

- ・子どもが好きなど、素直な動機を持って教職に就くべく教育学部に進学したものの、講義を受ける中で徐々に自分は教師になれるのかと不安になってしまう学生が周りにいた。
- ・今求められる教育や教師の姿などについての話も必要だとは思いますが、理想ばかりを語られると、かえって自信をなくすという学生の声がある。
- ・全体に学修指導案を作成する機会は多かったが、保護者対応や学級経営のことについても詳しく学びたかった。教職に関する理想ばかりでなく、実務の具体的な仕事の手順や方法を示してもらった方が、学生に響くと思う。
- ・より実践的な授業を増やしてほしい。
- ・一部すごくいい授業もあるが、教員を養成する教育学部の教授の授業が面白くない。
- ・「みんな教員になるでしょ？」という前提の授業がしんどい時がある。

対応 (学務委員会)

3/14 (月) に行われた次年度教職概論担当者による会議の席上、これらの情報について共有し、受講者の声を反映した授業となるよう周知

- ・1年次にもう少し教員養成や専門(幼児教育など)に関する授業があれば、2・3年次に余裕ができるほか、教職に対する考え方も変わるのではないかと思う。大学入門ゼミでコース別に分かれて学習する時間もあったが、もっと専門の授業が欲しい。

対応 (学務委員会)

教育課程そのものに関わる事項で、継続的に学生の意見等も聞きながら検討

- ・指導案の書き方や先輩教員の授業を見る機会などは、1年次からコンスタントにあれば教職へのイメージを持ちやすいのではないか。
- ・2年次の時に授業の課題でいきなり指導案を書くことがあったので早い段階で指導案の作り方が学べる機会があるとありがたい。

対応 (学務委員会)

指導案を早い時期から経験したいという学生の意向は以前から把握している一方で、そこに到達するまでに学ぶべき事項も各授業ではあり、これまでも担当教員での情報共有や実施可能性は検討しており、引き続き考慮していく

- ・教員免許の違い(1種、2種)の説明が2年の初めくらいにより詳しくして欲しい、副免を取った方がいいという勧め(特支など)

対応 (学務委員会)

学務委員会において本件について情報を共有し、4/4 (月) に行われた領域別ガイダンスにおいて情報を周知するよう依頼

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育学部の授業(教職実践演習や教育実習代替授業など)で、小学校・中学校の内容の比重が大きい。幼児の内容が0のこともある。幼児教育コースの学生への配慮がもう少しあると嬉しい。</li> </ul>
<p>対応 (学務委員会)</p> <p>幼児教育免許取得者が受講する幼児に関わる専門科目は多数開講されており、逆にいえば小、中、高校それぞれに特化した授業も多数開講できているわけではない。今後も各授業の中で、配慮組み込みできるものは入れていただくよう要請していく予定</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習前に保育内容の指導法や教科の教育法などの実践の授業をある程度やっておきたい。特に模擬保育や模擬授業で指導案を書くので、それを実習前に行うことで、指導案の書き方や内容の検討を十分に行えるのではないか。</li> </ul>
<p>対応 (学務委員会)</p> <p>指導案を早い時期から経験したいという学生の意向は以前から把握している一方で、そこに到達するまでに学ぶべき事項も各授業ではあり、これまでも担当教員での情報共有や実施可能性は検討しており、引き続き考慮していく</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単に教員養成コースだけではなく、いじめとか貧困など、子どもを取り巻く社会的観点から考える課程が学部・大学院にあったらいいと思う。</li> </ul>
<p>対応 (学務委員会)</p> <p>課程として組み込むことは困難であるが、一方で学生から関心の高いテーマでもあることは認知しており、まずはこれまでも各授業で触れられている事項ではあるが、そうした話題の扱いの充実を目指す予定</p>
<p><b>②教育実習</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の代替プログラムに関して、教員によって授業を公欠にしていただけの場合と、通常の休みとされる場合があった。中には「授業時間外で行くもの」と言われたこともあり、その場合、一回一回の実習時間が短くなり、充実した実習が行えないと思った。実習代替プログラムに関する教員の認識を統一してほしかった。</li> </ul>
<p>対応 (学務委員会)</p> <p>実習や実習代替プログラムと通常の授業が重複する場合の配慮は全教員へ周知が行われており、今後も対応を徹底</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度の教育実習代替授業等を受講した際に、小学校や中学校コースの人に向けた内容がほとんどであり、幼稚園実習に行く予定であった学生にとっては講義を受ける意義を感じない場面が多かった。</li> <li>・実習の事前指導や事後指導で、小学校実習のことばかりに触れそれ以外のことについてほとんど触れないため、受講する意義が感じられない。</li> </ul>
<p>対応 (学務委員会)</p> <p>代替プログラムの内容については、全てのコースの学生にとっても通底する事項を扱っており、そのことをより伝えるよう工夫をしていくと同時に、内容のバランスを図る方向で調整する</p>
<p><b>③その他 授業関連</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・初等授業研究など、模擬授業で思うような授業ができずに教師という道を断念する学生がいました。失敗に対するフォローが必要だと感じる。</li> </ul>

<p>対応（学務委員会） 特定の授業だけでなく実習等でも同様の状況にあることは了解されており、教員に改めて周知を図り、学生指導をするよう徹底</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器を用いた授業実践ができる授業が増えてほしい。</li> <li>・学校現場にてICT機器がどのように活用されているのか詳しく学びたい。</li> </ul>
<p>対応（学務委員会） 科目配置等で対応済</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学共通や複数教員での授業では、教職員はできるだけ名札をつけてもらえると助かる。〇〇先生に聞いてください、と言われてもどれがどの先生か、関わりがないと分からないことが多い。</li> </ul>
<p>対応（学務委員会） 学務委員会や教授会で要望を共有する予定</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間割配当が複雑で、履修したくてもあきらめないとならない科目がある。</li> </ul>
<p>対応（学務委員会） 教育課程そのものに関わる事項で、継続的に学生の意見等も聞きながら検討（ただし、時間割はほぼ動かさない状態であり、4年次の受講なども勧めていく）</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時間外の授業が多く予定を調整することが難しい時がある。</li> <li>・オンライン授業と対面授業の切り替えについて統一性がほしい。</li> <li>・オンライン授業と対面授業の切り替え変更の連絡は早く！</li> <li>・オンライン授業が増えてから、サボる人が増えて、まじめに受ける人とそうでない人の差がはげしくなった気がする。</li> <li>・評定の基準が分かりにくい授業が結構あり、明確にして欲しい。</li> <li>・先生によって熱量が違うのをどうにかしてほしい。</li> <li>・教育法関連の授業を学籍番号の奇数・偶数で分けるのに融通を効かせて欲しい。</li> <li>・福祉関係の授業が取れるようにしてほしい。</li> <li>・学校外での教育についても学んでみたい。</li> <li>・集中授業の日程が直前に決まる場合があり、それまで予定を立てられなかった。</li> <li>・指導案の書き方が授業によって異なるなどの教員間の連携不足。</li> <li>・Dream Campusのメール転送設定を利用している場合、学生用メールアドレスに直接送信されるメールには気付きづらいため、Dream Campusの方にも送信していただくと助かります。学生用メールアドレスに直接送信されるメールは、授業外学習の振り返り調査などが該当すると思います。</li> <li>・被服実習や実験等の内容が減少したので、現在の授業プログラムに数コマで良いので入れてほしい。</li> </ul>
<p>対応（学務委員会） 教授会等で引き続き情報を共有</p>

(2) 学修支援に関すること	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校免許(副免)を取るために必要な授業のうち、幼稚園の方の授業と置き換えることができるとされていたが、実際は足りないことがあった。免許認定において履修のてびきや大学としては置き替え可能という判断であったが、県の基準では置き換えは不可であった。十分な連携を図ってほしい。また、そのような変更や解釈の齟齬があった場合は学生にも通知してほしいと感じる。</li> </ul>
対応 (学務委員会)	対応済 (幼児コース：藤元先生に解決済であることを確認)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成績をもっと早く出してほしい</li> <li>・ シラバスの改善(メールアドレスや研究室が記載されていない教員がいる)</li> <li>・ 教職員の方のメールアドレスをドリームキャンパスに掲載してほしい。</li> </ul>
対応 (学務委員会)	学務委員会にて改めて徹底
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 免許取得に必要な時間割の組み方の例示が欲しい。追加で取得したい免許の条件を満たしているか不安になる。</li> </ul>
対応 (学務委員会)	学生には常に要卒条件、免許取得条件から単位について確認するよう徹底しており、また本人から相談があった際にも対応している
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ メンタルの不調や体調不良で学校に来れない人のために、いつでもオンライン受講できるようになってほしい。そのことが不利にならないようにしてほしい。</li> </ul>
対応 (学務委員会)	バリアフリー支援室等とも連携し、配慮が必要な学生に面談を行う、また直前の申し出にもオンライン対応の授業を行うなど、学生に配慮した授業は行っており、引き続き充実する方向で対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 編入生への履修登録等の説明が少なかった。</li> </ul>
対応 (学務委員会)	従来以上に丁寧な対応する方向で実施
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まん延防止措置が出ている場合、オンライン授業を選択できるようにするべき。密な授業があった。また食堂の利用人数も多く、不安であった。</li> </ul>
対応 (学務委員会)	換気の徹底やグループワークが長時間継続しない等の工夫はこれまでも講じており、各授業の教育目標に応じた授業実践を今後も実施。食堂の過密は全学的問題

### (3) 学生生活支援に関すること

- ・ 職員の学生への対応が丁寧でない場合がある。
- ・ 分からないことは友達に聞きなさい、と事務の方に言われたが、それは本来すべき仕事をしないでいると思う。ある程度のフォーマットを特に1年次には提示するべき。
- ・ 「学修支援」「学生生活支援」「教育環境整備」等、相談したいことをどこに相談したらよいのか窓口を分かりやすく示してほしい。窓口が幸町の北・南キャンパスに分かれたことによって相談しに行くこと自体をためらうことも増えた。
- ・ 就職支援をどの程度、どんなことをしてくれるのか、よく分からない。もっと気軽に相談できる雰囲気にしてほしい。

対応（学務係）

学生の自主性・自律性と学習支援のバランス等も考慮しながら引き続き教職員で情報共有して対応

### (4) 教育環境設備に関すること

該当なし

香川大学教育学部 学生からの意見と学部の対応 (令和4年5月学生支援専門委員会)
<b>(1) 授業や教育課程、教育プログラムに関すること</b>
<b>①教育課程</b>
該当なし
<b>②教育実習</b>
該当なし
<b>③その他 授業関連</b>
該当なし
<b>(2) 学修支援に関すること</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員採用試験対策の際に、他県にも目を配ってほしい。</li> <li>・ 他県での就職を希望している学生への支援強化。</li> </ul>
<p>対応 (学生支援専門委員会：就職)</p> <p>教育学部3年生を対象として10月に実施する就職ガイダンスにおいて、他県で実施されている採用試験の情報収集の方法等についてこれまでよりも丁寧に周知する予定です。</p>
<b>(3) 学生生活支援に関すること</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員にならない人に向けての就活支援が手薄である。</li> <li>・ 教員だけでなく、幅広い進路に関する情報が欲しい。民間に就職した先輩との交流など。</li> <li>・ 教育学部の就活生同士の交流機会がもっとあれば良いと思う。</li> </ul>
<p>対応 (学生支援専門委員会：就職)</p> <p>教育学部から紹介できる情報は限られていることから、10月に実施する就職ガイダンスにおいて、キャリア支援センターで情報提供を行っている旨をより丁寧に説明した上で、提供されている支援を十分に活用するよう周知する予定です。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハラスメント対策の強化</li> </ul>
<p>対応 (学生支援専門委員会)</p> <p>全学のハラスメントFDと連携しながら、定期的に注意喚起の学部FDを開催します。必要に応じて個別教員への指導も行います。学生支援専門委員会・学務委員会と学部のハラスメント相談員との連携を深め、ハラスメント相談員への相談がより一層しやすい態勢を作るよう努めます。令和4年3月21日に教育学部ハラスメント防止FDを開催し、学部全体に注意喚起を行いました。</p>
<b>(4) 教育環境設備に関すること</b>
該当なし



香川大学教育学部 学生からの意見と学部の対応（令和4年5月）教育実習実施専門委員会

**(1) 授業や教育課程、教育プログラムに関すること**

**①教育課程**

該当なし

**②教育実習**

・教育実習において、1クラスに対する実習生が多すぎる（実際の現場とのギャップがある）。

対応（教育実習実施専門委員会）

なかなか難しい問題です。原則として、附属学校をもつ国立大学教育学部では附属学校で教育実習を行なわねばなりません。附属学校の限られたクラス数に約370名の実習生を配置しますので、現状では、校種ごとに各クラスへ均等配置とならざるを得ません。実習生を1クラスに複数配置することによって、実習生同士での共同・協働学習が進むという利点もあります。なお、公立校インターンシップや公立校実習を利用すれば現場感覚を体験できるので、ぜひ利用してください。中長期的な状況変化に対応しながら更なる改善を目指します。

・コロナ禍でボランティア活動を止める必要はあったのか。

対応（教育実習実施専門委員会）

ボランティア活動に対して積極的意見を寄せてくださりありがとうございます。本学部のボランティア活動は大学の課外活動と同じ位置付けで実施しているため、大学の防疫対策に則った対応をとることになっています。また、本年度は公立学校側の学生受け入れが停止されました。学校側からすれば防疫措置として致し方ないところです。特に緊急事態宣言・蔓延防止等重点措置が適用されている期間は、学校・施設等の保護者からの理解を得ることが非常に難しくなります。このように、令和3年度は、大学および香川県内の感染対策に則って停止措置に踏み切らざるを得ませんでした。今後も、状況変化に応じた実施方法を検討してまいります。

**③その他 授業関連**

該当なし

**(2) 学修支援に関すること**

該当なし

**(3) 学生生活支援に関すること**

・実習や授業での交通費の自己負担額が多い。希望してないのに実習先が坂出に実習に行く場合はなんらかの経済的支援がほしい。定期買うこと勧められているが、結局あまり変わらない。

対応（教育実習実施専門委員会）

「『(1)②教育実習』の1クラスあたりの実習生数についての要望」とも関わる難しい問題です。後援会等経済的支援を検討しますが、大きな金額の助成は難しい状況です。中長期的な財政状況を鑑みて改善を試みます。

#### **（４）教育環境設備に関すること**

該当なし